

株主の皆様へ

第28期中間報告書

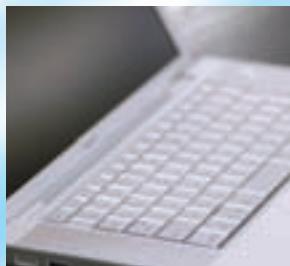
平成19年4月1日～平成19年9月30日

Business Report

KYORITSU
共立印刷株式会社



証券コード：7838



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

第28期事業年度上半期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）が終了いたしましたので、中間報告書にて事業の経過をご報告申し上げます。

営業の概況につきましては、別掲のとおりでございますが、当中間連結会計期間の売上高は172億5千4百万円（対前年同期比0.2%増）、営業利益9億6千4百万円（対前年同期比32.7%減）、経常利益8億2千6百万円（対前年同期比35.1%減）、中間純利益4億8千6百万円（対前年同期比34.5%減）となり、売上高は前年並を確保しましたものの、厳しい業界環境や資材高騰の影響を受け利益面においては、所期の目標を下回る結果となりました。

当社グループは、生産性の向上のため、継続的な設備の増強を行っております。当中間連結会計期間におきましては、B判の高速オフセット輪転機3台を新たに導入し、チラシなどの商業印刷分野への対応力を強化いたしました。

一方、設備投資を支える資金調達に関しましては、第三者割当増資を行い、設備投資資金を調達するとともに自己資本の充実を図りました。

また、東証一部企業としてふさわしい内部統制構築にむけ鋭意取り組んでおり、誠実な経営を実践してまいり所存でございます。

なお、当中間期につきましては、1株あたり7円を株主配当金とさせていただきます。

通期（平成20年3月期）の連結業績につきましては、売上高360億円、営業利益22億円、経常利益19億2千万円、当期純利益10億9千万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月

代表取締役社長

野田勝憲



CONTENTS

株主の皆様へ	1	グループの体制	6
連結業績ハイライト／トピックス	2	中間連結財務諸表	7
営業の概況	3	中間単体財務諸表	9
設備の概要	5	会社概要／株式の状況	10

連結業績ハイライト

■ 中間 ■ 当期

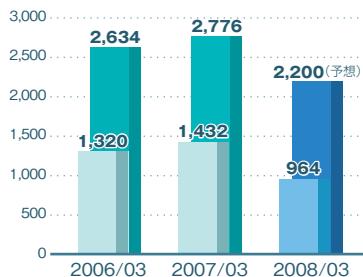
売上高

(百万円)



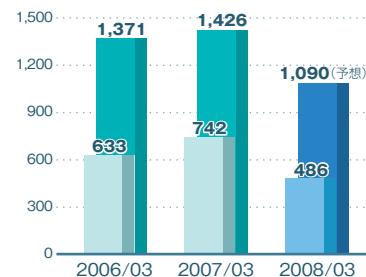
営業利益

(百万円)



中間(当期)純利益

(百万円)



TOPICS

設備の増強

2007年7月、本庄第2工場にB判の高速オフセット輪転機3台を設置いたしました。

B判輪転機の特徴

24時間で、B3では最高100万部の印刷が可能！

2台の輪転機を連結させると、B3では6/8ページ、B4では12/16ページ、B5では24/32ページの折り出しが可能！



第三者割当増資の実施

自己資本の充実及び設備投資資金と借入金返済資金調達のため、第三者割当増資を実施いたしました。これにより資本金の額は25億1千1百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の28.3%から33.7%へと5.4ポイント上昇し、財務基盤が安定いたしました。

第三者割当増資の概要

発行新株数	普通株式 3,450,000株
発行価格	1株につき 426円
払込価額の総額	1,469,700,000円
資本組入額	734,850,000円

営業の概況

当中間期の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資も底堅く回復基調を保っているものの個人消費は足踏み、米国の住宅融資問題を発端とする金融市場の不安定な状況もあり、先行きの不透明感が増しております。

当社グループの属する印刷業界におきましては、顧客からの印刷単価引き下げの要請が期初の想定を上回る速度で伸展しております。当社グループはその影響を最小限に止めるべく、生産要員約60名の増員ならびに高速オフセット輪転機3台の導入を行い生産性と内製率の向上を図り、収益の最大化に努めました。しかしながら、単価引き下げの影響を吸収するに至らず、当中間連結会計期間は厳しい経営環境となりました。

下期においては、輪転機の増加に加え、増員した生産要員の技能が熟練化することから設備の稼動状況が改善し、

利益面につきましては回復基調で推移するものと考えております。また、継続的に活動しております収益向上プロジェクト、品質保証プロジェクト等をさらに強力に推進し業績の向上に邁進してまいり所存であります。

当中間連結会計期間は、売上高172億5千4百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益9億6千4百万円（前年同期比32.7%減）、経常利益8億2千6百万円（前年同期比35.1%減）、中間純利益4億8千6百万円（前年同期比34.5%減）となりました。



商業印刷

折込チラシ／通販カタログ／各種パンフレット
携帯電話取扱説明書／POP／店舗装飾品

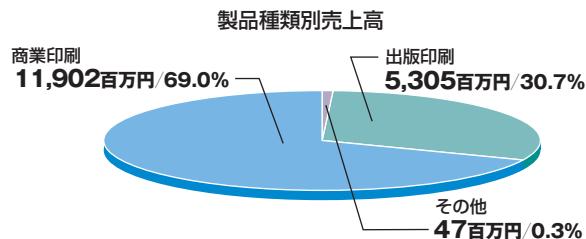
■当社設備とのマッチング

- BT輪転機 14台：折込チラシ・タブロイド紙などB判の印刷物
- AY輪転機 16台：通販カタログなどA4判の印刷物
- AT輪転機 2台：取扱説明書などA5判の印刷物

製品種類別概況

商業印刷

商業印刷の分野につきましては、顧客のコスト削減による紙面サイズの縮小や同業他社における社内生産が進み、受注減少となりました。そのような厳しい環境の中で、当社グループは、新規顧客の拡大等に取り組んでまいりましたが影響を吸収しきれず、商業印刷物の売上高は、5千9百万円減少し、119億2百万円（前年同期比0.5%減）となりました。



出版印刷

出版印刷の分野につきましては、中古車情報誌のページ数増加、情報誌の新規創刊に伴う受注増を中心として、当社グループの生産設備の特長を生かす受注活動を展開し、新規顧客との取引も拡大した結果、出版印刷物の売上高は8千6百万円増加し、53億5百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

その他

その他の売上高につきましては、主要な部分である不動産賃貸料につきましては、本社賃借ビルの一部フロアの転賃を増やした結果、売上高は4千7百万円（前年同期比18.8%増）となりました。

出版印刷

書籍／週刊雑誌・月刊雑誌／定期刊行物
住宅・求人・車・広告等情報誌

■当社設備とのマッチング

- AY輪転機 16台：ファッション雑誌などA4判の印刷物
- AT輪転機 2台：ゲーム攻略本・地図などA5判の印刷物
- 無線綴機 4ライン：フリーペーパーなどホッチキスなしの印刷物

設備の概要

共立印刷グループは、大容量の印刷に対応できる大規模な印刷・製本工場を、埼玉県本庄市に集約しています。印刷工程のロボット化、製本工場との連結、さらに本庄児玉インターチェンジ隣接という立地に加え、東京の本社や各

営業所からのデジタル入稿など工程のデジタル化により、速いスピードと最適なコスト、高品質を実現。また、クーポンチラシにミシン目を施すパーフォレーターを始め様々な特殊加工設備を整え、多品種印刷の要望に応えます。

RECENT TOPICS

- 2007年、本庄第2工場2,500坪の増築が完了し、B判輪転機を3台増設。
- 2008年、B判輪転機を1台追加し、輪転機35台体制を確立。



本庄第1・第2工場
面積:30,397坪
輪転機:第1工場 18台
第2工場 9台



面積:4,243坪
輪転機:7台

上越新幹線
本庄 早稲田
高崎 ← → 東京

工場建設予定地
面積:5,424坪



面積:2,933坪
中綴:7ライン
無線:4ライン



面積:1,613坪
中綴:8ライン

印刷工場 34,640坪 高速大型輪転機35台 + **製本工場** 4,546坪 中綴15ライン/無線4ライン

グループの体制

営業本部

プランニング

お客様が本当に満足できるクオリティ、スピード、コストを実現する提案型営業を展開。営業と製造とが部門の壁を取り払い、全社的によりよいサービスを提供する体制を構築しています。



共立グループでは印刷物のデザイン・DTPから印刷、製本まで一貫体制で事業を展開しております。

株式会社インフォビジョン

デザイン・DTP

最新鋭工場の生産スピードに合わせ、業界に先駆けてプリプレス工程をデジタル化。劣化の少ない優れた品質再現を追求するとともに、作業効率の向上、コスト低減を実現しています。



印刷工場

印刷

高速の両面同時印刷、折り機のインライン化など輸転機のメリットを最大限に生かしながら、個々の輸転機に特化した機能を付加。印刷の新たな可能性を追求し続けています。



製本工場

製本

隣接する印刷工場で刷り上がった印刷物を用途に応じて製本しています。コルプス製の最新鋭製本機の投入により1時間に最大1万5千冊の生産スピードが可能になり、品質も向上いたします。



中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第28期(中間)	第27期(前期)
	平成19年9月30日現在	平成19年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	13,434	13,767
現金及び預金	5,414	5,214
受取手形及び売掛金	6,481	7,375
たな卸資産	813	578
繰延税金資産	139	145
その他	588	459
貸倒引当金	△ 3	△ 5
固定資産	16,276	15,785
有形固定資産	14,341	13,893
建物及び構築物	5,849	5,178
機械装置及び運搬具	3,131	3,288
工具器具備品	109	113
土地	5,176	5,126
建設仮勘定	74	186
無形固定資産	90	116
投資その他の資産	1,844	1,774
投資有価証券	794	757
長期貸付金	6	1
繰延税金資産	212	155
保険積立金	593	593
その他	271	299
貸倒引当金	△ 34	△ 32
資産合計	29,710	29,552

科 目	第28期(中間)	第27期(前期)
	平成19年9月30日現在	平成19年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	13,415	13,692
支払手形及び買掛金	8,097	8,260
短期借入金	150	150
一年以内返済予定長期借入金	2,661	2,650
一年以内償還予定社債	460	460
未払法人税等	344	577
賞与引当金	207	185
その他	1,495	1,408
固定負債	6,284	7,490
社債	140	370
長期借入金	5,248	6,122
退職給付引当金	498	488
長期未払金	165	267
その他	231	241
負債合計	19,700	21,182
(純資産の部)		
株主資本	9,896	8,245
資本金	2,511	1,776
資本剰余金	2,505	1,770
利益剰余金	4,879	4,698
評価・換算差額等	113	124
その他有価証券評価差額金	113	124
純資産合計	10,010	8,369
負債純資産合計	29,710	29,552

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第28期(中間)	第27期(中間)
	自 平成19年4月 1日 至 平成19年9月30日	自 平成18年4月 1日 至 平成18年9月30日
売上高	17,254	17,220
売上原価	14,701	14,118
売上総利益	2,553	3,102
販売費及び一般管理費	1,589	1,669
営業利益	964	1,432
営業外収益	18	10
営業外費用	156	169
経常利益	826	1,273
特別利益	2	6
特別損失	57	2
税金等調整前中間純利益	772	1,278
法人税、住民税及び事業税	329	532
法人税等調整額	△ 43	2
中間純利益	486	742

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第28期(中間)	第27期(中間)
	自 平成19年4月 1日 至 平成19年9月30日	自 平成18年4月 1日 至 平成18年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,071	1,176
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 32	△ 851
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 205	△ 1,389
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額	833	△ 1,064
現金及び現金同等物の期首残高	4,580	5,859
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,414	4,795

(減少：△)

中間連結株主資本等変動計算書

(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
平成19年3月31日残高	1,776	1,770	4,698	8,245	124	8,369
中間連結会計期間中の変動額						
新株の発行	734	734		1,469		1,469
剰余金の配当			△ 305	△ 305		△ 305
中間純利益			486	486		486
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額 (純額)					△ 10	△ 10
中間連結会計期間中の変動額合計	734	734	181	1,650	△ 10	1,640
平成19年9月30日残高	2,511	2,505	4,879	9,896	113	10,010

中間単体財務諸表

中間貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第28期(中間)	第27期(前期)
	平成19年9月30日現在	平成19年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	12,620	12,527
固定資産	16,120	14,996
有形固定資産	13,536	12,246
無形固定資産	68	81
投資その他の資産	2,514	2,669
資産合計	28,740	27,524
(負債の部)		
流動負債	13,137	12,902
固定負債	5,929	6,814
負債合計	19,066	19,717
(純資産の部)		
株主資本	9,560	7,682
資本金	2,511	1,776
資本剰余金	2,505	1,770
利益剰余金	4,543	4,135
評価・換算差額等	113	124
その他有価証券評価差額金	113	124
純資産合計	9,674	7,806
負債純資産合計	28,740	27,524

中間損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第28期(中間)	第27期(中間)
	自平成19年4月1日 至平成19年9月30日	自平成18年4月1日 至平成18年9月30日
売上高	17,085	16,952
売上原価	14,706	14,118
売上総利益	2,378	2,833
販売費及び一般管理費	1,541	1,546
営業利益	837	1,287
営業外収益	29	35
営業外費用	146	150
経常利益	721	1,172
特別利益	291	6
特別損失	56	1
税引前中間純利益	955	1,177
法人税、住民税及び事業税	288	490
法人税等調整額	△46	3
中間純利益	713	683

会社概要

会社概要

本社所在地 東京都板橋区清水町36番1号

設立年月日 1980年8月1日

資本金 25億1,135万円

従業員数 516名

工場

- 本庄工場（本庄第1工場、本庄第2工場）
埼玉県本庄市いまい台1丁目32
- 児玉工場
埼玉県児玉郡上里町嘉美字立野南1424-1
- 製本第1工場
埼玉県児玉郡上里町嘉美字立野南1600-13
- 製本第2工場
埼玉県本庄市いまい台2丁目74

営業所
札幌営業所
名古屋営業所
大阪営業所

関連会社
株式会社インフォビジョン
株式会社ケーアンドエムプロセス

役員構成

代表取締役社長	野田 勝憲	
取締役副社長	倉持 孝	営業統括・生産統括
常務取締役	木村 純	管理統括
取締役	藤井 敏	営業副統括・営業開発本部長
常勤監査役	反佈 紀久	
監査役	秋沢 志篤	ヒーローズエデュテイメント株式会社代表取締役会長
監査役	窪川 秀一	公認会計士・税理士
執行役員	船木 敏勝	生産副統括・製造本部長
執行役員	伊藤 弘樹	第1営業本部長

株式の状況

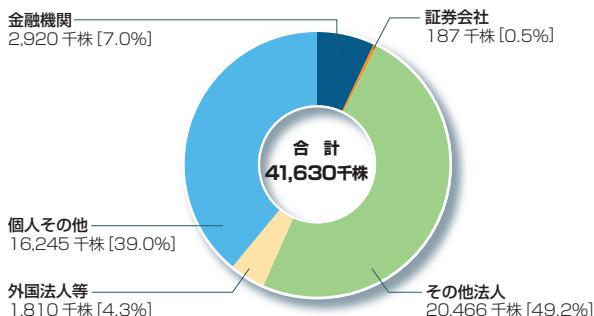
株式の状況

発行可能株式総数	130,720,000株
発行済株式総数	41,630,000株
株主数	3,294名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
野田 勝憲	7,412	17.8
(有)ウエル	6,589	15.8
東京インキ(株)	2,190	5.3
(株)小森コーポレーション	2,030	4.9
エイチエスピーシーバンクビーエルシー アカウントアトランティスジャパングロスファンド	1,270	3.1
(株)ペルーナ	1,000	2.4
(株)プロトコーポレーション	1,000	2.4
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	908	2.2
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	818	2.0
井奥 貞雄	807	1.9

所有者別株式分布状況



平成19年9月30日現在

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 (中間配当を実施する場合)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都港区芝3丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 (証券代行事務センター) TEL.0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店
公告の方法	電子公告の方法により行います。 但し、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL http://www.kyoritsu-printing.co.jp/
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部

ウェブサイトのご案内

IR情報をはじめ、
各種情報を発信しています。



<http://www.kyoritsu-printing.co.jp/>

KYORITSU
共立印刷株式会社

〒174-8860 東京都板橋区清水町36番1号
TEL.03-5248-7801(管理本部)